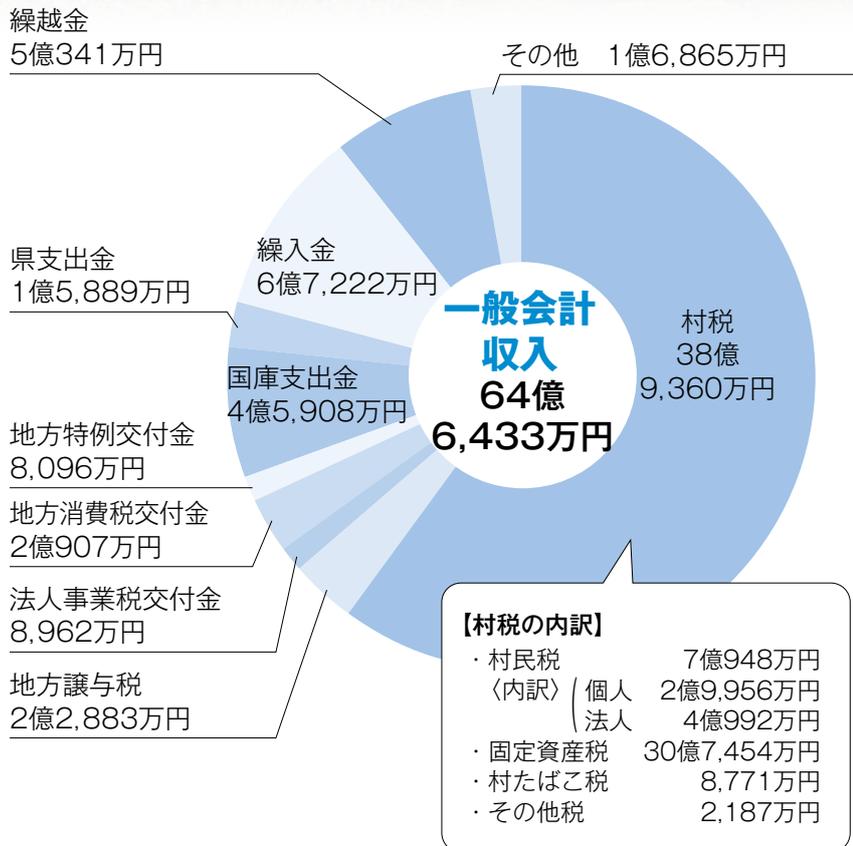


令和3年度決算

一般会計
特別会計

歳入77億円 歳出71億円を検証!!



9月定例会のあらまし

9月定例会は、2日に招集され、20日までの19日間の会期で開かれました。

招集日には、条例制定・改正6件、補正予算3件、令和3年度の決算認定6件、専決処分の承認1件が提出され、最終日には、補正予算1件、人事案件3件、議員からの意見書1件が追加提出されました。

いずれも原案のとおり、承認・可決・認定・同意・採択しました。

一般質問は、会期15日目(9月16日)に7人が当面する村政の問題を質問しました。

会計別の決算状況

会計名		歳入額	歳出額	差引額	
一般会計		64億6,433万円	58億1,614万円	6億4,819万円	
特別会計	国民健康保険	5億1,654万円	5億537万円	1,117万円	
	農業集落排水処理施設事業	1億8,728万円	1億8,439万円	289万円	
	土地取得	33万円	33万円	0円	
	介護保険	保険事業勘定	4億9,530万円	4億8,493万円	1,037万円
		サービス事業勘定	84万円	47万円	37万円
	後期高齢者医療	8,369万円	8,364万円	5万円	

**地域公共交通活性化再生法定協議会補助金
(飛島バス・海南病院通院支援タクシー)(総務費)**

約1億3250万円

令和3年4月から飛島バスにICカードを導入し、
利便性向上を図りました。



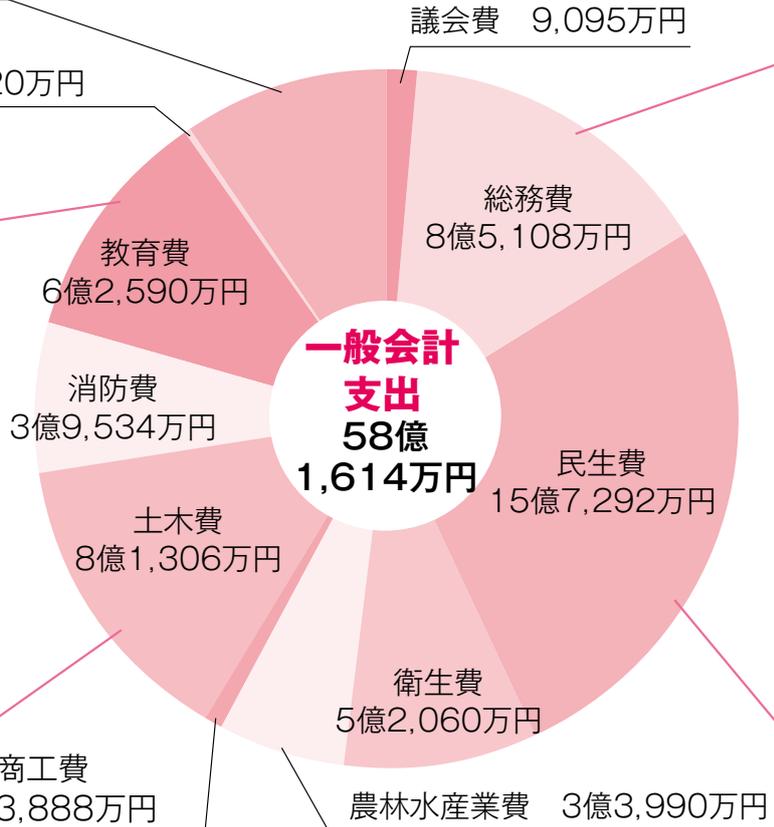
諸支出金(積立金ほか)
5億4,731万円

公債費(借金返済) 2,020万円

**教育ICT支援システム等
機器借上(教育費)**

約6470万円

学校教育ICTの推進を
図りました。



第一保育所大規模改修工事(民生費)

約3億2650万円

老朽化した園舎を改修しました。



梅之郷一時避難所建設工事(土木費)

2億1560万円(令和3年度分)

梅之郷地区において、避難所の建設工事に着工しました。(令和4年8月から供用開始)



一般会計歳出額58億1614万円を村民(4666人)1人あたりにすると… **124万6493円**

一般会計

質疑

飛鳥村観光交流協会補助金

問 予算に対して決算額が少なかった主な理由は。

答 3月に開催を予定していた「とびしまルシェ」が中止となったため。

問 令和4年度の事業の状況は。

答 様々な事業を展開しており「とびしまルシェ」も3月に開催を予定している。

妊産婦及び子育て支援タクシー料金助成

問 予算に対して決算額が少なかった理由は。

答 申請者・利用者が想定より少なかったため。令和4年度は母子手帳交付時に申請をしていただいている。

問 4歳未満の子どもがいる保護者への周知は。

答 子ども向けの各種教室等で周知をしている。



令和3年度 トビシマライツ

大学生奨学金

問 予算に対して決算額が少なかった理由は。

答 申請者が想定より少なかったため。令和4年度は制度の見直しを行い、基準等を緩和した。

問 対象者は把握できるのか。

答 把握はできない。広報とびしまや村公式ホームページ等で周知・案内をしている。

問 中学校卒業時に周知をしている。

答 学園で周知を行うのも一つの方法かと思われる。今後、検討する。

問 大学4年生までが対象か。単年度申請か。

答 基本的には、大学は4年生までが対象だが、医学部等は6年生までが対象。申請は単年度に周知を行っている。

財政状況

問 村税が減収となった理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、法人村民税は企業の減収、固定資産税は減額の特例適用があったため。

問 令和4年度の見通しは。

答 令和2年度と同じくらいは確保できると思われる。

問 当初予算と比較し、繰り入れた基金が約10億円減額した理由は。

答 約5億円の村税増額と、各工事等の執行後の残額により財源ができたため。

問 村税が約5億円も増えるというのは、予算を立てるときから分かっていたのではないか。

答 当初予算時は、固定資産税の特例適用の申請が増加すると想定し

ていた。実際には申請が少なく、結果、固定資産税が多く入ってきたという状況。

討論

反対…橋本 渉 議員

豊かな財政は、住民の暮らしを豊かにするために使っていくべき。基金に積み立てるなどして、もう少し住民負担軽減のために予算を使ってもいいのではないかとこの立場から、反対する。

賛成…伊藤 秀樹議員

活気・魅力・人づくりの村の推進に向け、事業計画に沿った実施がなされ、適切に執行されており、今後も最良な事業の推進と予算執行を望み、村民の生活環境の向上に努力されることを願い、賛成する。

(賛成多数で認定)

特別会計

国民健康保険

質疑

問 保険給付費の伸びは。

答 令和2年度と比較

すると医療費が約322万円の減額となっているが、当初の見込みより増額となっている。

問 保険給付費の令和4年度の動きは。

答 令和3年度末から伸びた状況が続いており、令和4年度も増えるの見込んでいる。

問 基金の積立金が約1億3000万円ある。当面、保険税の値上げはあり得ないと思うが。

答 保険税は、段階的に資産割をなくし、所得割・均等割・平等割の3方式に移行してきている。資産割分の不足をどのように補うかが

検討課題である。まずは基金を活用しながら、急激な増額とならないように検討していきたい。

問 いつ頃から資産割をなくすのか。

答 令和5年度からと考えるが、運営協議会で検討する。

討論

反対…橋本 渉 議員

保険税が大変高く、値下げをしてほしいと思う。一般会計からの繰入金も削減されている状況であるので、反対する。

賛成…伊藤 豊 議員

増加傾向にある医療費と少子高齢化の社会情勢を鑑み財政確保に努めている。保健事業の充実により住民の健康と維持増進を願い、堅実な国保財政を望み、賛成する。

(賛成多数で認定)

農業集落排水処理施設事業

(全員賛成で認定)

土地取得

(全員賛成で認定)

介護保険

質疑

問 保険給付費の伸びは。

答 令和2年度と比較して約1700万円増加している。施設型の給付費が伸びている。

問 保険給付費が、当初予算と比較すると約3600万円減額となっている。保険給付費は抑えられていると理解しているのか。

答 お見込みのとおり。

問 基金積立金が約7000万円ある。この基金を使って保険料を値下げできないのか。

答 現在、第8期の2年目であり、今後の保険給付費の推移を見据え、安定的な運営をしたい。

問 保険料が約1000万円減った理由は。

答 予算と決算との差と認識していただきたい。

討論

反対…八木 敏一議員

当初予算では、給付費が過大に積算されている。また、保険料が当初予算に足りていない。補正予算で帳尻を合わせており、不適切であるため、反対する。

反対…橋本 渉 議員

保険料は県下で2番目に高い。基金積立金を使って保険料をもう少し安くすべきだと考えるため、反対する。

賛成…中山恵美賀議員

高齢化が急速に進展する中、より一層介護予防事業が積極的に展開されるとともに、適切な介護保険サービスを受けられる運営を願い、賛成する。

(賛成多数で認定)

後期高齢者医療

討論

反対…橋本 渉 議員

お年寄りに対する医療制度の制約や、令和4年10月から医療費自己負担が2割となり、負担の増大につながる会計と考えるため、反対する。

賛成…上田 光彦議員

高齢者の保険料を広域連合に納付するための会計であり、高齢者が安心して医療を受けられるようにするための制度である。今後も増え続ける高齢者医療費を国民全てで支える保険事業のさらなる充実を願い、賛成する。

(賛成多数で認定)



令和4年度 敬老祝賀会
健康高齢者表彰

基金別決算額

基金名	種別	令和3年度末現在高
財政調整基金	現金等	9億円
地域整備基金	現金等	59億2,850万円
減債基金	現金等	2,839万円
人材育成基金	現金等	5億1,000万円
地域福祉振興基金	現金等	1億3,920万円
国民健康保険財政調整基金	現金等	1億3,396万円
土地開発基金	不動産(土地 雑種地)	4.514㎡
	現金等	1億6,433万円
介護給付費準備基金	現金等	7,137万円
基金合計	現金等	78億7,575万円

監査委員の決算審査意見

令和4年7月8日から28日にかけて、監査委員伊藤幹男氏・小川政徳氏により、決算審査が行われました。

審査した結果をまとめ、8月23日に意見書として村長に提出しました。

審査の結果および意見

令和3年度一般会計、特別会計の歳入歳出に関する調書は、関係法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められました。

また、基金の運用状況を示す書類の計数についても、特に問題とする事項はありませんでした。また、基金の運用状況を示す書類の計数についても、特に問題とする事項はありませんでした。

予算編成については、真に必要な分野に重点的かつ効率的に予算配分がされたと考えます。

一般会計では、形式収支、実質収支が黒字となっており、必要な財源の確保と効率的な財政運営に努められた結果であると認められます。常にコスト意識を持って、最小の経費で最大の

効果が得られるように創意工夫し、スピード感を持って効率的な事業執行に努めてください。

第5次総合計画の基本計画に掲げる施策の展開を図っていくためには、社会情勢を的確に見極め、コロナ禍においても効果的・安定的な行財政運営の取り組みを進められることを期待し、職員一人一人が意欲を高め、社会情勢の変化に対応していくことが重要であると考えます。今後も持続可能な自治体運営に努め、「活気・魅力・人づくりの村」に取り組みされることを要望します。

審査意見より(要旨)



意見書を村長に手渡しする委員



決算審査を行う監査委員